

平成 28 年度 第 2 回グローバル気候変動適応研究推進小委員会 議事録

場所 九州大学

時間 2016 年 3 月 17 日 12:25-13:30

参加者：矢野，小林，中山，里深，戸田，矢島，赤松，椿，音田，丸谷，田中，多田，東，山城，笠間，藤見，中北，中津川，佐山，渡部（順不同，敬称略）

1. 自己紹介

2. 報告事項

平成 28 年度活動実績

- H28/9/6 第一回小委員会（仙台）
- H28/9/7-9 平成 28 年度土木学会全国大会（研究討論会＋共通セッション@仙台）
- H28/11/18 第一回幹事会（大阪）
- 平成 29 年土木学会全国大会（九州）に向けての共通セッション＋研究討論会の提案
- 平成 29 年度重点研究課題（研究助成金）への応募

平成 29 年度活動計画

- 平成 29 年 4 月 28 日 適応策研究の課題抽出のためのWS @土木学会
- 平成 29 年土木学会全国大会@九州大学
- 平成 30 年 1 月頃にシンポジウムを開催
- 適応策研究レビューを水資源・河川災害・環境水理の分野で実施. 土木学会論文集への投稿

3. 協議事項

4 月 28 日開催のWS について

- ローカルの気候変動シナリオを小委員会で作成.
- 基礎水理・河川・水文・環境水理分野での課題の洗い出し.
- 穴を見つけることと、穴を掘ることは、別認識が大切.
- 適応の観点から各委員の所属する専門分野としてどのような課題があるかを検討する必要がある.
- 最終的なゴールは政策，社会実装をテーマに，国土交通省との意見交換.
- 基礎水理部会では，乱流などについては，外力が加わっても，本質的には何も変わらないのではないかと。基礎水理は深く掘り下げたいというのが多い。境界を壊してまで，というのはあまりいない。→是非気候変動との関連を考えて欲しい.
- 河川部会では，堤防の分野も大事，地盤の研究者も入っている。だんだん地盤関連研究の投稿も増えてきている.

- 地盤から来ている。気候変動適応研究は地盤はほとんどやっていない。
- 適応は水工だけでクローズしない。その進め方をワークショップで議論したい。

4. その他

- 本年 10/31, 11/1 に沖縄・那覇で水シンポジウム。河川の相談ができる研究者が沖縄県内にあまりいない、水工学の人にたくさん来てほしいとの声が沖縄県より寄せられているので、グローバル小委員会を水シンポジウムの前後に開催することなどを検討中。
- ポスト創生=統合プログラム。統合が始まって、環境水理なども関連してくる。最初から急にというわけではないが、委員会でも情報共有する。協力者に入っていたく。